

保健2年

教科	科目名	単位数	学年・コース	教科書名	副教材
保健 体育	保健	1	2年 共通	現代高等 保健体育 (大修館書店)	現代高等保健体育ノート (大修館書店)

学習目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。		
学習の進め方	教科書を中心に授業を行います。2・3年の保健の授業を通して現代の起きている健康問題を提示しながら「覚える」ばかりではなく「考える」授業を展開していきます。		
評価対象・方法	授業の取り組みはもとより、定期テスト（期末試験のみ）・ノート提出を評価対象とし、総合的に評価する。		
受講に向けての心構えと準備	週1時間と限られた時間の中で、人間の全ての行動の基本となる「健康」について学ぶことは容易ではない。試験は、各学期1回だが、テストの点数や評価ばかりを気にするのではなく、「現代の多様化している健康課題とその対策について」生涯を通じて自分自身の問題に引き寄せて学ぶ姿勢を身につけてもらいたい。		
	学習事項	学習内容	備考
一 学 期	【現代社会と健康】 01 健康の考え方と成り立ち 02 私たちの健康のすがた 03 生活習慣病の予防と回復 04 がんの原因と予防 05 がんの治療と回復 06 運動と健康 07 食事と健康 08 休養・睡眠と健康 09 喫煙と健康 10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康	世界有数の長寿国の我が国が、今後取り組むべき課題や我が国の健康水準の状況や疾病構造の変化について学ぶ。 健康の保持増進と生活習慣病の予防には、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践する必要があることを学ぶ。 喫煙と飲酒は、生活習慣病の要因になること。それらの対策には、個人的や社会環境への対策が必要であることを理解する。	
	期末試験		
二 学 期	【現代社会と健康】 12 精神疾患の特徴 13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復 15 現代の感染症 16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防 18 健康に関する意思決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり	現代社会で特に問題になっている精神疾患や感染症について学習し、その予防には社会的な対策とともに個人の適切な行動が必要であることを理解できるようにする。 精神機能は、主として大脳によって統一的・調和的に営まれていることを理解する。 人間の精神と身体は密接な関連を持っていることを、身体的変化が精神に及ぼす影響と精神的变化が身体に及ぼす影響との両面から理解できるようにする。	
	期末試験		
三 学 期	【安全な社会生活】 01 事故の現状と発生要因 02 安全な社会の形成 03 交通における安全 04 応急手当の意義とその基本 05 日常的な応急手当 06 心肺蘇生法	交通事故を防止するためには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度及び交通環境の整備などが必要であることを理解する。 一人一人が応急手当の手順や方法を身につけるとともに、自ら進んで行う態度を養うことが必要であることを理解する。	
	学年末試験		